

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコンgresワークショップ 12	
企画名	その患者さん、治療方針決められる？ ～意思決定能力を評価する～
日時	2016年6月10日(金) 15:20～16:50
会場	第12会場 (台東区民会館 9階 ホール(1))
企画責任者	関口健二 (信州大学医学部附属病院/市立大町総合病院 総合診療科)
定員	54名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>我々は日々の診療において、常に患者の意思決定能力を評価しているし、しなければいけないが、果たして「医学的に適切な」意思決定能力の評価を行なっているだろうか？</p> <p>ある治療方針を決定するとき、通常はそれ程意識することなく、患者の意思決定能力の評価を行なっている。しかし、急な意識変容をきたした患者や、認知機能障害のため十分に病状を理解しているかはつきりしない患者が、推奨される治療を拒否している場面、或いは大きな侵襲をともなう医療行為であるのに簡単に同意してしまう場面など、慎重に評価しなければいけないシチュエーションは少なくない。超高齢社会に突入して認知機能障害を有する患者の割合も増加の一途をたどっている昨今、意思決定能力の評価は、医療者にとって欠かせない診療技能のひとつとなっている。</p> <p>本セッションでは、日米の比較を交えながら、意思決定能力の評価と治療方針決定プロセスについて、レクチャー+ワークショップ形式で皆さんと共に学びます。</p>	
<p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none">① レクチャー1：意思決定能力とは何か？ どう評価するか？② ワークショップ1：実際の症例を用いて意思決定能力の評価を学ぶ③ レクチャー2：日米比較で見る治療方針決定プロセスの違い④ ワークショップ2：実際の症例を用いて治療方針決定プロセスを学ぶ	